

トルコ為替週報

2022年2月8日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き> (2月1日~2月7日)

USD/TRY: 13.3550~13.6100

TRY/JPY: 8.41~8.61 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、下押しの先行から、方向感を欠いた横ばいへと推移。1日から3日にかけてのリラ安は、先月28日、30日と週末を挟んで進んだリラ高の反動と言えた。先月末のリラ高には、企業向け為替差損補填リラ預金への資金流入(1年半ばにリラ買い材料視された要因の焼き直し)やアゼルバイジャンの政府系ファンドによる10億ユーロ規模の(トルコ中銀に対する)預金などが材料視されたが、速やかなリラ反落は、「いずれの材料もリラ安の方向感を変える程のインパクトはない」との判断を、通貨市場が下した結果と言えたのではないかと。3日発表されたトルコ1月CPIが、市場予想通りの水準と言え、前年比+48.69%と、2002年4月来の高水準に急伸した事実は、直後のリラ下押しを誘ったものの、前後の値動きの中で、リラ下落の最後のひと押しを作った程度にとどまった。インフレの加速は、実質所得の圧縮、購買力の低減という意味で、成長阻害要因、リラ安要因と読むことができたが、既に、1日発表されたイスタンブール市の1月物価(12月の前年比+34.18%から同+50.91%に急上昇)から予見されていた。また、トルコ貿易省が、2日の時点で、同国の1月貿易赤字が前年比241%増の104億ドル規模に膨らんだとの速報値を発表したことも、前後してのリラ安に寄与したことだろう。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
2/3	7:00	CPI(前年比)	1月	+48.69%	+48.00%	+36.08%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し> (2月8日~2月14日)

USD/TRY: 13.500~13.800

TRY/JPY: 8.35~8.60

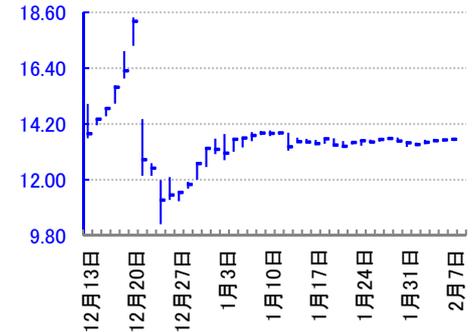
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、下落を予想。トルコ1月貿易収支が、貿易省の速報値通りだったとすると、2011年に記録した史上最大と並ぶ大幅赤字水準ということになる。2011年の同国の経常収支はGDP比8.9%という大赤字だったが、その後、トルコの名目GDPも大幅に拡大しているはずで、単純な比較はできないと思いきや、確かにリラ建名目GDPは4.7倍にも拡大してきたものの(2011年→2021年)、同期間にドル建GDPはむしろ5%ほど縮小していた(この項、出典はIMF)。インフレの威力と、為替の恐ろしさを改めて痛感させる数字であると同時に、エルドアン大統領の目指すリラ安と経常黒字をてこにした経済成長の実現がいかに困難かを物語る数字ではなからうか。トルコ銀行監督局(BDDK)のアリ・アクベン局長は、3日夜、為替差損補填リラ預金の残高が直近1週間で810億リラ増加し、2,900億リラに達したと発表したが、今の為替水準で810億リラは60億ドル弱。並行して、トルコ中銀は、トルコ国営燃料企業(BOTAS)に対し、1月単月で41.5億ドルの外貨を売却した(注)という(過去4ヵ月間で合計99.9億ドル)。この間、UAEの中銀とトルコ中銀が50億ドル規模のスワップ協定を結んだ(1月19日)とか、アゼルバイジャンの政府系ファンドが10億ユーロをトルコ中銀に期限6ヵ月で預け入れた(上述)とか、トルコ当局が潤沢な外貨を調達したかのような報道を度々目にするが、どれだけ外貨獲得に奔走しても、燃料輸入の補助だけで、湯水のように外貨は消えていってしまう。しかも、BOTASに対する外貨売却が「払われてしまう」お金なのにはたいし、スワップ協定も外貨預金も「借りてきた」お金の過ぎない。そこまで援助しても、家計向けの電力価格は1月に130%ちかくも上昇しており、6日には、トルコ国内の各地で電力価格急騰に対する不満を訴えるデモが繰り広げられたという。加えて、貿易収支動向から察するに、経常収支の大幅赤字が定着するのほぼ確実な見通しで、リラに強気になれる理由が見つからない。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

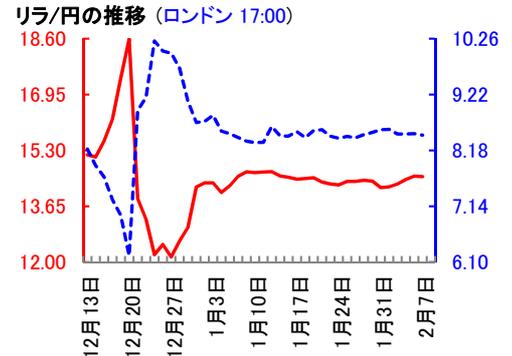
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
2/10	7:00	失業率	12月			11.2%
2/11	7:00	経常収支(USD)	12月		-4.20bn	-2.68bn
	7:00	鉱工業生産(前年比)	12月		+10.3%	+11.4%
	7:00	期待インフレ率(12ヵ月)	2月			+25.37%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

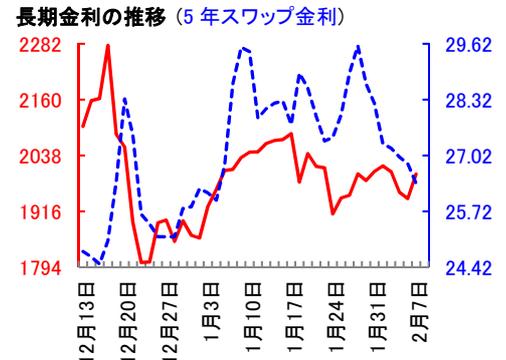
USD/TRYの推移 (日足/ロンドン 7:00~17:00)



バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)



株式市場の推移 (ISE 100種指数)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+7.4%
失業率	11月	11.2%
消費者物価(前年比)	1月	+48.69%
鉱工業生産(前年比)	11月	+11.4%
小売売上高(前年比)	11月	+16.3%
貿易収支(USD)	12月	-6.79bn
経常収支(USD)	11月	-2.68bn

(注) おそらくは市場実勢からは大幅に乖離した特別優遇(リラ高/外貨安)レートで

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。